

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	鹿児島大学
設置者名	国立大学法人 鹿児島大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

鹿児島大学では、全学教務委員会において、シラバスの全学的なガイドラインを定め、設けるべき項目、記載すべき内容及び留意事項等を明示している。当該全学的なガイドラインに従って、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を全学部において作成している。

公表時期については、学生が履修登録の際に授業科目の選択に資するよう当該年度が開始される前にはホームページ上に掲載している。

全学的ガイドライン

○授業計画(シラバス)作成のガイドライン

1. シラバスの必須項目【全学統一】

記載項目	留意事項など
授業科目名(英語表記含む)	
開講学部・学科等	
開講期・受講期	3期、2年前期など
授業科目区分 (又は必修/選択区分)	
単位数	
担当教員 (共同担当教員等を含む)	
連絡先 (担当教員との連絡方法)	
授業概要	
学修目標	
授業計画	各回ごとに記載(同じ単元等が複数回ある場合、数字などを記載)
成績の評価基準	出席点は記載しない。できるだけ複数の評価方法で総合的に評価(割合の数値化を推奨)
授業外学修 (予習・復習)	具体的学修内容の記載を、標準的な所要時間があればベスト
教科書・参考書	
オフィスアワー	
アクティブ・ラーニング	グループ・ディスカッション、ディベート、その他から選択 その他の場合は具体的に記入
実務経験のある教員による実践的授業	授業担当者の実務経験及び実務経験をどのように生かして授業を行うかを記載。学外者による授業やインターンシップ・実習等を中心とした授業の場合はその内容を記載。

2. シラバス記載内容の確認

★各学部でシラバス記載状況のチェックを行う体制を整備する。

授業計画書の公表方法	<a href="https://www.kagoshima-u.ac.jp//education/gakubu-kouengaiyou.html">https://www.kagoshima-u.ac.jp//education/gakubu-kouengaiyou.html</a>
------------	---

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

鹿児島大学では、鹿児島大学学則第42条の2第2項で「各学部等は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。」と規定し、さらに、各学部規則にも同様に規定し、各授業科目のシラバスにおいて、具体的に成績の評価基準を明示して、それに基づいて、厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定している。

また、令和2年度に全学の成績評価に関するガイドラインを策定し、令和3年度当該ガイドラインに基づき厳格かつ客観的な成績評価を行っている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

全学的にGPAを取り入れている。共通教育科目等においては、GPA制度による成績評価を行っている。それに基づいて、半期に1回、全学を対象に優秀な学生には表彰を、またGPAが低い学生には低学年時の早期から助言や指導をおこなっている。

(<https://www.kagoshima-u.ac.jp/educenter/gpa.html>)

GPA値は次の式で算出している。

([https://www.kagoshima-u.ac.jp/education/2021\\_risyuannai.pdf](https://www.kagoshima-u.ac.jp/education/2021_risyuannai.pdf))

項目	学習達成度	評語	GPの値
成績評価及び評語	90%以上	A	4点
	80%以上90%未満	B	3点
	70%以上80%未満	C	2点
	60%以上70%未満	D	1点
	60%未満	F	0点
単位認定科目及び他大学等单位互換により単位を修得した科目の成績評価	認定	P	
GPAの算出方法	$(\text{学期} \cdot \text{年間} \cdot \text{通算}) \text{GPA} = (4 \times n_A + 3 \times n_B + 2 \times n_C + 1 \times n_D + 0 \times n_F) / (n_A + n_B + n_C + n_D + n_F)$ 注) $n_A$ 、 $n_B$ 、 $n_C$ 、 $n_D$ 、 $n_F$ は、それぞれ当該期間に履修した科目のA、B、C、D、Fに対応する総単位数とする。		

また、全学の学部生の授業料免除対象者の学力基準の一つとして、学業成績指標を用いて判定している。(学業成績指標が2.0以上の者) 計算式は次のとおり。

(<https://www.kagoshima-u.ac.jp/education/gakuryokukijyun.pdf>)

学業成績指標 = (秀(A)・優(B)の単位数 × 3点 + 良(C)の単位数 × 2点 + 可(D)の単位数 × 1点) ÷ 合計修得単位数

客観的な指標の算出方法の公表方法

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/educenter/gpa.html>  
<https://www.kagoshima-u.ac.jp/education/gakuryokukijyun.pdf>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
<p>鹿児島大学では、全学（鹿児島大学）の卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を定めて公表している。さらに、各学部においても、この全学の方針に沿って、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を定め、また、教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）、入学者受け入れの方針（アドミッションポリシー）も併せて公表している。</p> <p>卒業の認定の際には、これらの方針や学生の修得単位数等を踏まえて、適切に卒業を認定している。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	<a href="https://www.kagoshima-u.ac.jp/education/eoplcmnm.html">https://www.kagoshima-u.ac.jp/education/eoplcmnm.html</a>